

平成29年度「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の目標設定等について

事業の概要

東日本大震災によって、いまだ仮設住宅等における生活を強いられている地域があり、復興に向けての学習支援等が必要であるため、被災地における子供の学習環境の好転や仮設住宅とその周辺地域とを結ぶ地域コミュニティの復興促進を図る事業。

【こども部での対象事業】

- ・郡山市震災後子どものケアプロジェクト（15,590千円）
子どもの明るく健やかな成長を促す環境整備を図るため、「郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム」による会議や、子どもや保護者等に対しての心のケア相談会、遊びと運動の実技に関する講演会や研修会等を開催する。
- ・地域子ども教室（23,273千円）
地域の参画を得ながら、子どもたちに勉強・スポーツ・文化活動等の場を提供し、放課後の児童の安全で健やかな居場所づくりに取り組む。

【交付に必要な手続き】

「評価・検証委員会」を設置し、被災地における課題解決に向けての明確な目標設定や効果測定、事業の評価・検証を実施する。



上記事業は、「郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン」実施計画にも該当していることから、子ども・子育て会議において評価・検証をする。

各事業の目標等

【郡山市震災後子どものケアプロジェクト】

(1)目標

- ・子ども及び保護者が抱えている震災等に起因する心の不安の解消する。
- ・未就学児童の運動等の状況を把握し、運動あそびをさせることにより、後の体力・運動能力を全国平均程度まで上昇させる。

(2)活動内容

- ・郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム会議の開催
- ・心のケアに関する相談会や、絵本の読み聞かせの実施
- ・運動実技講演会及び研修会の実施
- ・運動と生活習慣に関するアンケートの実施

(3)効果測定方策

- ・運動と生活習慣に関するアンケートの回答集計
- ・各種活動の参加者数の集計や実務者からの意見聴取

【地域子ども教室】

(1)目標

子ども教室における地域住民との交流や、各種体験事業の実施により、子どもたちが、地域住民との関わりを持ち、地域行事へ積極的に参加することで健全育成を図る。また、子どもたちへの学習支援や読書活動を通して、家庭での自主学習や読書の習慣を身につけさせる。

- ・地域行事に参加した児童の割合 80%以上
- ・家庭での学習・読書の習慣が身に付いた児童の割合 80%以上

(2)活動内容

- ・公民館等が開催する行事への地域子ども教室入会児童の積極的な参加
- ・児童の学年に応じた適切な学習支援や読書時間の設定及び継続的な実施

(3)効果測定方策

- ・入会児童及び保護者に対するアンケート調査の実施
(内容：地域行事への参加状況、家庭での学習・読書時間等)